



週間半導体ニュース

2026年8月17日 — 8月23日

AIデータセンターの資金調達に、GPU供給元であるNVIDIAの債務保証が組み込まれた週。半導体の売り手が顧客の設備投資まで支える資金循環の構造が、最大の論点として浮上した。

Miki Matsui, Co-Founder, CHIP-J

出典: 一次発表・SEC提出書類 / Bloomberg / Reuters / CNBC / TechCrunch / TrendForce ほか

エディターズ・ピック



1050億ドル

NVIDIA、OpenAI拠点に残
価保証

OpenAIはソフトバンク傘下のSB Energyのオハイオ州パイク郡拠点を20年間リースする。NVIDIAは8-Kで、初期4.25 IT-GW分に最大約1,050億ドルの残価保証を開示した。電力インフラの整備には、日本政府の日米合意に基づく対米投融資枠も活用される。

[\(NVIDIA、8/17\)](#)



210億ドル

Etched、7億ドル調達で評
価額210億ドル

Jane Streetが主導し、7月23日の103億ドルから1か月で倍増した。同社は実機を検証したうえで初の量産顧客となった。

[\(TechCrunch、8/18\)](#)



3兆ドル

将来の支払い約束が3兆
ドル

WSJの分析では、大手9社の簿外コミットメント（将来支払うと約束した額）は約3兆ドル。直近12か月の公表設備投資約6000億ドルの約5倍にあたる。

[\(WSJ、8/17\)](#)

1. AIチップ／GPU

❶ Cerebras、初のマルチウエハー機「CS-4」

WSE-3 Turboを3枚搭載し、1ラックで750ペタFLOPS、メモリ帯域129.6PB/sを実現。GPT-OSS-120Bで1ユーザーあたり毎秒4400トークン超、GPU比で最大30倍を主張する（両者は別の比較）。出荷は今四半期から。 [（Cerebras、8/18）](#)

❷ NVIDIA、Poolsideに60億ドル支払い10億ドル出資

コーディングモデル企業Poolsideの「Model Factory」を非独占でライセンスし、109名に雇用を提示。買収を避けて能力を取り込む一方、NVIDIA自身がプレミアネー120億ドルで約10億ドルを出資した。 [（Newcomer、8/20）](#)

❸ Broadcom、AI案件で最大1000億ドルの負債調達か

Bloombergによれば、シニア債600～700億ドルとジュニア債約300億ドルの構成で600億ドル超を模索。SPVを通じAnthropic向けチップを賄う。BlackstoneとApolloが投資家候補に挙がる。 [（Bloomberg、8/20）](#)

2. 製造・サプライチェーン

BofA、TSMCの2027年設備投資を800～850億ドルに

従来の780億ドルから引き上げ、市場予想約750億ドルを上回った。資本承認額が年40～45%増を続けることが前提で、投資判断Buyと目標株価NT\$3,100は据え置いている。 [\(BofA、8/19～20\)](#)

CoWoS逼迫、先端パッケージ受注がIntelへ流出

TrendForceによれば、CoWoSが満杯となり後工程受注がIntelのマレーシア拠点へ流れている。2027年のEMIB-T量産を目指す欣興電子（日本企業2社と提携）とASEが恩恵を受ける見通しだ。 [\(TrendForce、8/19\)](#)

Samsung、ファウンドリ価格を最大15%引き上げ

SF4（4nm）は中国・米国顧客に10～15%、台湾顧客に5～10%、SF5（5nm）は10～15%、8nmも約10%引き上げた。値上げは7月に発効。2022年以来赤字の同事業が初めて価格決定力を得た。 [\(Reuters、8/19\)](#)

3. コンシューマー向けチップ

📱 Samsung、メモリ高騰でGalaxy A37／A57を値上げ

インド市場でGalaxy A37とA57を2000～5000ルピー引き上げた。A37の12/256GBは5万2999ルピーから5万7999ルピーへ。DRAM・NAND逼迫のコストが中位機の店頭価格に届いた、日付の明確な最初の例である。 [\(Sammy Fans、8/22\)](#)

📱 Exynos 2700、社内テストでSnapdragonを上回る

Samsungの社内評価では、Exynos 2700のGeekbench 6.5マルチコアがSnapdragon 8 Elite Gen 6比19%高く、Llama 3.1 8Bの応答は18%高速、消費電流は161mA対185mA。第2世代2nm（SF2P）採用の社内・未検証値である。 [\(SEDaily、8/23\)](#)

📱 Analog Devices、四半期売上が過去最高の40.2億ドル

8月1日締め四半期は前年比40%増、営業利益は97%増の16.1億ドル。牽引役はデータセンターと産業向けで、通信は84%増の6.55億ドル（約8割がデータセンター関連）、産業は53%増の19.7億ドルだった。 [\(Analog Devices、8/19\)](#)

4. ハイパースケーラーと米国の電力

⚡ OpenAI・NVIDIA、オハイオに8IT-GW拠点

オハイオ州パイク郡の旧ウラン濃縮施設跡地に、8IT-GWの計算容量を新規発電10GW以上（うちガス火力9.2GW以上）で賄う。NVIDIAはSB Energyに15億ドルを出資し、最初の800MWは2028年稼働を目指す。 [\(NVIDIA、8/17\)](#)

⚡ データセンターが中間選挙の争点に浮上

共和党上院選対委員会がAI主要企業に送った内部文書「Ohio Data Center Risk」をAxiosが入手した。立地への反発がオハイオ州のHusted上院議員に響くと警告し、「選挙サイクル全体の伏在争点」と位置づけている。 [\(Axios、8/19\)](#)

⚡ Marvell、Googleに最大122億ドル相当のワラント

報じられ方とは逆で、MarvellがGoogleに5897万株・行使価格206.58ドルのワラントを発行した。全部行使で約122億ドル・持分約7%、2033年8月まで。権利確定はGoogle自身の購入実績に連動する。株価は9.85%高。 [\(CNBC、8/19\)](#)

5. 自動運転・車載半導体

ネバダ州、最大7000台の有料ロボタクシーを認可

州運輸当局はラスベガスを含むクラーク郡での自動運転配車を全会一致で承認。今後12か月でTeslaが最大5000台、Waymoが1000台、UberがMotionalとZooxを通じ1000台。Tesla側は5000台を上限値とし実際は約2500台と説明した。 [\(TechCrunch、8/20\)](#)

Waymo、走行モジュールの自社ASICを開示

自社ブログによれば、専用設計の5nm ASICが1000TOPS超を発揮し、2系統の独立エンジンで一方が故障しても他方が引き継ぐ。高解像度カメラ13台を統合し、車両の液冷系に直結する。累計2億マイル超を自動運転で走行した。 [\(Waymo、8/20\)](#)

Rivian発の Also、1.5億ドルのシリーズDを調達

Prysm Capitalが主導し、Eclipse Ventures、Greenoaks、MVP Venturesが参加。評価額は10億ドル超で、18か月で3回目の調達となり累計約4.55億ドル。小型EVへの自律走行機能搭載を進める。 [\(TechCrunch、8/19\)](#)

6. チップ・スタートアップと投資

7億ドル

Etched

評価額は1か月で103億ドルから210億ドルへ。Jane Streetが主導し、初の量産顧客にもなった。 [\(TechCrunch、8/18\)](#)

6億ドル

Fractile

英国のインメモリ演算企業。Anthropicとの約2.5億ドルのチップ契約を背景に、プレマナー65億ドルで交渉中と報じられた。 [\(Bloomberg、8/19\)](#)

3.5億ドル

Groq

評価額35億ドルとピーク69億ドルのほぼ半値。NVIDIAによる技術ライセンスと創業者採用を経て、ネオクラウドへ転換する。 [\(TechCrunch、8/17\)](#)

2.5億ドル

Starcloud

評価額23億ドル。Manhattan Westが主導し、NVIDIAが約2500万ドル参加。軌道上AIデータセンターを構築する。 [\(BusinessWire、8/21\)](#)

1.1億ドル

Vela AI

Seligman Venturesが主導。チップを売らず「Titan Core」IPを供与する方式で、電力あたり性能2～4倍を掲げる。 [\(SiliconANGLE、8/18\)](#)

7. 業界再編と政策

SIA新CEOにMichael Robbins氏

AUVSI社長のRobbins氏が10月1日付でJohn Neuffer氏の後任に就く。2026年末に期限を迎える米48D税額控除の延長論議のさなかの交代となる。

[\(SIA、8/18\)](#)

韓国メモリ2社、記録的な株主還元

SK hynixは40兆ウォン（約286億ドル）の自社株買いと消却を決議。約2407万株・発行済の3.3%で韓国史上最大。Samsungは2026年の還元を90～110兆ウォンと見込むと発表した。

[\(SK hynix、8/19\)](#)

政策ウォッチ：BISの最終親会社ルール

5月31日付のBIS指針は、D:5区分またはマカオに最終親会社を置く企業には、拠点がどこにあっても先端計算品目の輸出許可が要ると明確化した。

[\(BIS、5/31付\)](#)

Anthropic、IPO準備とTPU創設者の採用

6月1日にS-1草案を秘密提出済み。8月末にも公開申請の可能性があるとBloombergが報じた。GoogleのTPU創設者Amir Salek氏を計算チームに迎えている。

[\(Bloomberg、8/21\)](#)

焦点：循環的な資金フローのリスク

今週の主要案件はいずれも、AI計算の供給者が同時にその支払いを保証・出資している。

NVIDIA → OpenAI

OpenAIのリース債務に最大1050億ドルの残価保証を付し、地主のSB Energyに15億ドルを出資し、チップを独占供給する。払えない場合に立つのは保証である。

[\(NVIDIA、8/17\)](#)

NVIDIA → Poolside

非独占ライセンスに60億ドルを支払い、同じ会社にプレマナー120億ドルで約10億ドルを出資した。技術の買い手が売り手の資金の出し手でもある。

[\(Newcomer、8/20\)](#)

Marvell ← Google

Marvellが発行したワラントは、Google自身の購入額に応じて権利が確定する。ベンダー株式が顧客の支出の関数として発行される構造である。

[\(CNBC、8/19\)](#)

見えないレバレッジ

WSJによれば大手9社の簿外コミットメントは約3兆ドルで、公表設備投資の約5倍。需要が鈍れば、チップ売上・リース保証・SPV債務が同時に傷む。

[\(WSJ、8/17\)](#)

出典



- 一次資料 — NVIDIA、OpenAI、Micron、ADI、Waymo、Cerebras、SK hynix、Samsung
- Bloomberg — Poolside、Broadcom、Fractile、Anthropic
- Reuters — Samsungのファウンドリ値上げ
- CNBC — Marvell・Googleのワラント、NVIDIAの資本優位
- Axios、WSJ — オハイオ拠点、NRSC内部文書、簿外3兆ドル
- TechCrunch — ネバダ州ロボタクシー、Etched、Groq、Also
- SiliconANGLE — Broadcom、Velauro、Nscale、Waymo詳報
- TrendForce／DIGITIMES — CoWoS流出、Samsung温陽HBM工場
- SEDaily／Sammy Fans — Exynos 2700、Galaxy値上げ
- gov.ca.gov — 期間中にAI・半導体関連の発表なし

対象期間: 2026年8月17日～8月23日に公開された報道。全数値は一次資料で再検証済み。訂正一覧と全記事リンクはマークダウン版ダイジェストに収録。